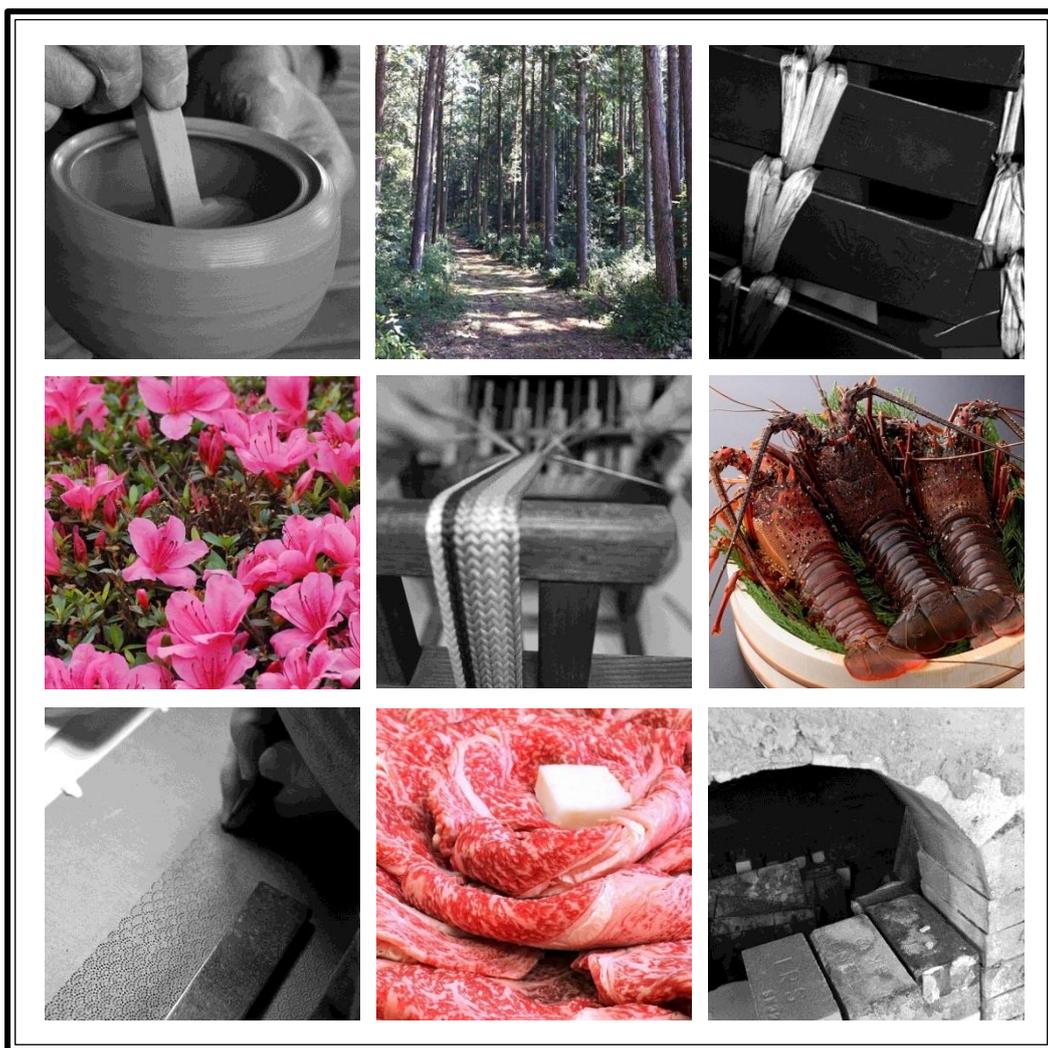


県産食材等の活用及び 首脳会議場等における 県産品・伝統工芸品の活用に係る 要 望 書



平成 27 年 10 月 9 日
伊勢志摩サミット三重県民会議
三 重 県

2016年の主要国首脳会議が伊勢志摩地域で開催されることを受け、県産食材等の活用及び首脳会議場等における県産品・伝統工芸品の活用について、以下のとおり要望します。

1 県産食材等について

三重県が誇る県産食材、加工食品、日本酒について、積極的に活用していただきたい。

2 首脳会議場等におけるしつらえに向けた県産品・伝統工芸品の活用について

- (1) 首脳会議場における円卓など、サミットに係る備品については、尾鷲ヒノキ等の三重県産材を活用していただきたい。
- (2) 首脳会議場における備品や食事の際の食器等については、三重県の伝統工芸品を活用していただきたい。
- (3) 首脳会議場等の装飾に使用される花き花木については、三重県の花き花木を活用していただきたい。

平成27年10月9日

伊勢志摩サミット三重県民会議会長

三 重 県 知 事

鈴 木 英 敬

1 食材等について

「御食国（みけつくに）」として古くから朝廷に海産物を献上してきた三重県は、豊富な食材に恵まれており、「食」の宝庫といえます。伊勢志摩サミットにおいては、首脳や配偶者、シェルパ、各国代表団、報道関係者など、世界中からお集まりいただく多くの方々に、三重の「食」を堪能していただくことで日本の食文化に触れていただき、また、「食」を通じて、豊かな自然や人々の営みに思いを馳せていただきたいと考えています。

そこで、三重県が誇る県産食材、加工食品、日本酒について、リストにとりまとめましたので、ぜひとも積極的にご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

三重県産食材等推薦リストについて

(1) 食材（野菜、果物、畜産物、茶、海産物等の農林水産物）

県内29市町に照会し、市町から推薦のあった食材を市町推薦食材リストとしてとりまとめました。

あわせて、これまでに三重県がとりまとめてきた「みえイノベーション食材カタログ」と、「みえセレクション」（下記（2）参照）から食材を抜粋したリストを添付させていただきます。

豊かな自然の中で育まれた質の高い地元食材を、ぜひご活用ください。

(2) 加工食品（調味料、麺、漬物、餅菓子等の加工食品）

県内の特徴ある優れた産品を首都圏などに向け情報発信し、販路拡大を図ることを目的に、平成25年度より選定している「みえセレクション」に加え、今般、以下の食品を公募してとりまとめました。

これらの加工食品は、本県の食文化を象徴するものや、材料や製法へのこだわりや味、デザインなどに優れた特徴を持っているものですので、ぜひご活用ください。

- ・県内に主たる事業所がある事業者が製造又は加工した食品

（製品に占める三重県産の原材料の重量割合が50パーセント以上のもの）

※酒税法に基づき県内の酒類製造者が製造する清酒は除く。

・三重県の歴史的背景に鑑み、1868年（江戸時代）以前から県内で製造・販売されている餅菓子

〔 本県では、多くの餅菓子店が伊勢参宮街道や東海道沿いに営まれ、お伊勢参りの旅人や大名の参勤交代など、広く親しまれてきました。 〕

（3）日本酒

全国新酒鑑評会で受賞された日本酒をはじめ、三重県に存する蔵元が自信を持ってお奨めする日本酒をとりまとめました。

料理に合わせ、三重の日本酒をご活用いただくとともに、乾杯はぜひ、地元三重の日本酒で行っていただくよう、お願い申し上げます。

2 県産品・伝統工芸品について

(1) 尾鷲ヒノキ等の三重県産材について

三重の地は温暖な気候と豊富な降水量に恵まれ、古くからスギ、ヒノキを中心とした造林が進み豊かな森林が育まれてきました。三重で生産される木材は、高い密度で植栽し、間伐を繰り返すことにより、通直で年輪幅が細かく、強度もあって光沢にも富んでいます。

北海道洞爺湖サミットでは、首脳会議のシンボリックな備品である円卓に北海道産のイタヤカエデが活用され、九州沖縄サミットでも同様に沖縄県産のリウキウマツが活用されたと聞いているところです。また、現在、国際社会では、森林保全のため、適切に管理された森林から生産される木材を使用した木材製品や紙を使用すること（F S C 認証を受けた木材製品や紙を使用すること）が求められています。

これらのことから、伊勢志摩サミットにおいても、ぜひ、尾鷲ヒノキ等の三重県産材を活用していただきたいと考えています。

また、円卓以外にも、首脳会議場や国際メディアセンターなど、様々な場面・空間づくりにおいて三重県産材をご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

(2) 三重県の伝統工芸品について

三重県には、豊かな自然や歴史文化に生まれながら、脈々と受け継がれてきた伝統工芸品が数多くあります。首脳会議場等において、三重が誇る伝統と匠の技を通じて、日本の伝統・文化に触れていただきたいと考えています。

なお、伝統工芸品については、器などそのまま活用いただけるものと、素材として取り入れていただけるものがあります。三重県が設置している首都圏営業拠点「三重テラス」における活用事例なども、ぜひ参考にいただければ幸いです。

また、県内自治体の中には、乾杯条例を設置し、地元の日本酒を地元の伝統工芸品の器に注いで乾杯する習慣を広めるための取組を推進するよう努めることを、当該自治体の役割として規定しているところもあります。三重の日本酒で乾杯いただくこととあわせ、三重の伝統工芸品の器を使っていただきますよう、お願い申し上げます。

(3) 三重県の花き花木について

豊かな自然の中、三重県では長年培った栽培技術により、クオリティの高い美しい花き花木が数多く生産されています。地元三重の花き花木が醸し出す、安らぎや潤いを感じていただけるよう、三重県産花き花木で首脳会議場や宿泊施設等を彩っていただきたいと考えています。